

長岡市・小国支所からのお知らせ

発行/編集 小国支所 地域振興課 地域振興・防災係 平成21年3月19日発行

電話 : 0258-95-5905 FAX : 0258-95-2282 Email : ogn-chiiki@city.nagaoka.lg.jp

おぐに雪まつり前夜祭 雪ぼたる
18の集落が参加
写真は、桐沢河川公園



天地人放送中
お見逃しなく！

実頼おぐりん



マスコット
キャラクター
トッキッキ

平成21年9月9日・11日～13日(水泳)
平成21年9月26日～10月6日

トキめき新潟国体

小国地域委員会報告

平成20年度の小国地域委員会では、分科会形式を取入れ、小国地域の主要課題の検討を行いました。

検討項目は、第1分科会が「総合福祉センターについて」、第2分科会「農産物販売所等について」です。

第1分科会は、検討結果を「要望書」として市長へ提出しました。

第2分科会については、取りまとめたものを掲載します。

第1分科会

小国地域総合福祉センター整備に関する要望書

平成21年 1月30日

長岡市長 森 民 夫 様

小国地域委員会

委員長 相 波 公 英

<要 旨>

小国地域では少子高齢化が急速に進んでおりますが、地域住民がいつまでも生きがいを持って健康で活き活きとした生活が送れる魅力ある地域づくりを目指しています。

そのため、子供から高齢者までが気軽に集えて、世代間交流や地域間交流が図られ、健康増進と地域コミュニティ活性化の拠点となる総合福祉センターの整備を要望いたします。

なお、施設整備の必要性及びコンセプト、並びに施設内容に関する要望事項等につきましては次のとおりです。

<説 明>

①施設の必要性

小国地域には33の集落があり、それぞれの集落が総代をはじめとする役員を中心に、集落の維持管理や伝統行事の実施など集落自治と活性化に努めています。

また、高齢化が進んでいるため、高齢者が家庭や農業、集落活動の担い手の中心として地域を支えている状況があります。

これらを踏まえ、小国地域では早い時期から福祉、保健、医療の連携のもとに地域住民の福祉増進と健康づくりに取り組んできました。

しかしながら、平成20年4月1日現在の高齢化率は36.2パーセントと長岡市内で2番目に高い状況にあります。

このため高齢者の生きがいづくりや健康管理、高齢化の著しい集落の支援体制の整備など、地域全体に元気を取り戻すための対策が課題となっています。

このような状況のなか、当地域委員会では小国地域の活性化を図るために総合福祉センター分科会を立ち上げ、2年間検討を重ねてまいりました。

また、集落自治や地域コミュニティの活性化を図り、住みよい地域社会をつくろうと総代連絡協議会や地域コミュニティ検討委員会が発足し、協議・検討がはじまっています。

今後、地域活性化を図るための組織が活動するには、活動の拠点となる施設が必要です。

そして、高齢者をはじめ地域住民がいつまでも生きがいを持って健康で生き生きとした生活を送るには、誰もがいつでも気軽に出かけられて、そこに行けば地域のいろいろな世代の人と交流のできる場が必要だと考えます。また、都市や他地域との交流により活性化を図るための機能も必要です。

老朽化が著しく幹線道路から離れた場所に点在している小国地域の高齢者施設等については、利用の実態を踏まえ、今後整理することを視野に入れ、交通の便のよい旧柏崎高校小国分校を念頭に施設機能を集中させ、住民の利便性を高めたいと考えます。

これらの理由から、当地域委員会は地域住民の世代間交流による元気な地域づくりを目的に、小国地域総合福祉センターの整備を要望するものです。

②施設のコンセプト

「子供から高齢者までが気軽に集える、地域活性化の拠点施設」

③施設内容に関する要望事項

- ・ 福祉関係団体等の事務室の整備
- ・ 乳幼児から高齢者まで気軽に集え、世代間交流ができる施設の整備
- ・ 学生の合宿など、都市との交流ができる施設の整備
- ・ 誰もが利用できる健康づくり、体力づくりのできる施設の整備
- ・ 生涯学習に対応できる施設の整備
- ・ 高齢者や身体障害者の利用に配慮した施設の整備
- ・ 冬期の利用を考慮した駐車場等の整備

市長へ提出



第2分科会

小国地域委員会第2分科会報告（平成20年12月19日）

テーマ「農産物販売所等について」

1 分科会活動経過

第1回分科会協議	6月5日	正副部長会議	7月9日
第2回分科会協議	7月23日	地域内の実態調査	7月21日～22日
第3回分科会協議	7月30日	農産物現地視察研修	8月27日
第4回分科会協議	9月30日	農産物の販売促進研修	11月26日

2 現地調査、視察研修内容

・ 地域内の実態調査

鷲之島生産組合では集落内の100円市場と、今春出来た七日町のAコープ前の販売所の様子を、七日町の細井さんからは独自の販売網について、武石に畑を作って、長岡市内に売り込みをしている「魔女の直送便」の活動や今後の意気込みなど興味深いお話を聞くことが出来ました。他に「小国なじょらい市」の実績など調査を行った。

・ 農産物現地視察研修

長岡地域振興局が主催する、「農産物」販売促進研修会に分科会として参加した。午前中は、(株)亀田郷農産物直売所「亀田・農産物直売所 大地」の設立から現在の運営状況など現地研修を行った。午後からは新潟市の豊栄地区で、農薬や化学肥料を使用しない有機栽培米に取り組み、安全で美味しい農産物を消費者に提供している「上野農場」の様子を研修した。

・ 農産物の販売促進研修

長岡農業普及センターが主催する、「農産物の販売促進研修会」に分科会として参加した。小国地域農業法人10組織との意見交換や、集落内販売等の取り組みの状況などを直接聞くことができた。講演は県経営改善アドバイザーによる、米の販売における顧客の維持・開拓について、研修を行った。

3 各委員の意見による主な内容

(1) 現状と課題

小国の農産物 米—農協中心の販売、米価の下落

野菜—自家消費主体、農協出荷、直売所

- ・ 生産 生産体制、出荷体制の整備 収穫時期が集中 販路及び販売体制が弱い
経営品目が米に片寄り 安定経営のために品目増が求められている。
- ・ お客 大口、小口消費者への対応
- ・ まとめ役 全体コーディネーター人材不足

(2) 方向性

- ・ 基本 一人勝ちではなく、地域一丸となって農産物の販路、販売体制の確立
小国地域の元気度アップに貢献
- ・ 生産 生産基準（技術・出荷）をつくり守る。生産責任者 検査体制 保険
少量づつを大勢の生産者で参加 多品目を生産 高齢者の活用
- ・ 出荷 集落拠点出荷－選別仕分け－直売所 （出荷担当は・・・）
- ・ 販路 「道の駅・農産物販売所（山の駅）」による共同販売所設置運営
売り方の研究 ブランド化、ネーミング、包装、量、送り方・時期
店舗、インターネット他
- ・ 事務 コーディネーター必要（誰がするか・・・）

4 第2分科会としてのまとめ

観光・産業の振興と小国地域の情報の発信の場として、道の駅の整備が望まれる。ただ、現実として道の駅の新設はかなりの難題であり、幅広い分野にわたる検討と盛り上がりが必要である。また、小国地域では大型圃場整備事業が進み、生産組織の法人化など、今後より効率的な農産物の生産体制が整いつつある。食文化の情報発信や食の安全、地産地消意識の醸成に向けた取り組みを含め、農産物の販売施設の整備を期待するものである。

(1) 道の駅構想

国道 291 号線は、武石トンネル・新桜町トンネルの開通以来飛躍的に交通量が増加している。また、403・404 号線では、十日町市地内の道路改良が進み、今後の交通量の増加が見込まれる。長岡市の最も南に位置し、十日町市との接点及び魚沼圏域と柏崎圏域を結ぶ位置にあり、長岡市の南の玄関口になることから、長岡地域の観光、物産のインフォメーション機能を担える。

参考 近くの道の駅までの距離

- | | | | |
|-----------|---------|-------------|---------|
| ・ちぢみの里おぢや | 10.5 km | ・えちご川口あぐりの里 | 17.0 km |
| ・瀬替の郷せんだ | 18.5 km | ・風の丘米山 | 25.5 km |

(2) 農産物の販売施設

目的「生産者と消費者の交流を深め、地産地消を進め、農業所得の向上と地域の活性化を目指す。」

- ・ 道の駅に併設し整備できればよいが、課題も多い。
- ・ 今後、小国地域委員会の検討内容を精査し、更なる検討を深めることが必要になる。
- ・ できれば民間ベースで検討する。農協との連携がよいのか、生産者がまとまることができるか、まとめ役、全体コーディネートはどのような組織がよいのか。
- ・ 小国地域担い手連絡協議会等で研修など実施しているが、やる気と経営能力を身につけているか。真に必要性を感じているのか、今後議論を深めたい。
- ・ 結果を急がずに、小規模でもよいので年間を通じた活動が可能か模索することも大切である。

(行政の支援) 検討にかかる経費、現地研修・視察等にかかる経費、情報の提供など

武蔵野市に「小国アラワル」

武蔵野友好都市長岡市小国交流事業
3月7日・8日

武蔵野市内数ヶ所で、小国和紙展示、物産販売、法末神楽、太郎丸巫女爺踊り、わらそうり作り体験など、魅力的な小国を紹介し、震災支援への、感謝の気持ちを伝えたイベントでした。

雪の贈り物には、大人も子どもも大喜びで、純白の雪が、あっという間に土色に染まってしまいました。



武蔵境冒険遊び場公園：小国の雪出現



三桶集落表彰される 3月16日

3月中に発生した火災において、火災の早期発見、通報及び集落の住民が協力して初期消火を実施し、火災による被害を最小限に止めた功績が認められ、長岡市消防長から表彰されました。



お知らせ

いきいきセミナー「心豊かに生きるために」パートⅡ

明るく朗らかな家族と一緒に、日々健康で過ごすことは誰もの願いです。日々の生活の中、ストレスに負けず、心豊かに生きるためのヒントを、お話していただきます。

どうぞ、お誘いあわせてお出かけください。

日時 平成21年4月26日(日) 午前10時から午前11時30分
会場 小国商工物産館 2階
参加費 無料 講演終了後お茶を用意しております。
講師 (社)倫理研究所 生涯局専任講師 大澤 民子 様
主催 家庭倫理の会 後援 長岡市教育委員会
問合せ 樋口さん ☎22-3888 五十嵐さん ☎33-6844

春の全国交通安全運動

4月6日（月）～4月15日（水）

スローガン

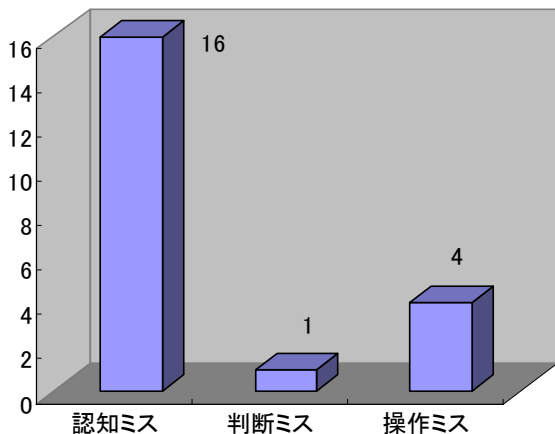
義と愛の 心でつながる 春の道

運動の重点

- ◎子どもと高齢者の交通事故防止
- ◎全ての座席のシートベルトと
チャイルドシートの正しい着用の徹底
- ◎自転車の安全利用の推進
- ◎飲酒運転の根絶



新潟県交通安全マスコット
ルルちゃん



交通事故原因のトップは「認知ミス」

平成20年中に、小国地域内で発生した人身事故は、21件でした。

その原因別発生状況が、左のグラフです。

認知ミスとは、安全不確認・動静不注視・前方不注視などです。

もう少し運転に集中していれば、起きなかった事故かもしれません。

いつもより、ほんの少しでもいいですから、心を落ち着けて運転してみませんか。



交通安全に対する国民意識を高めるための国民運動です。

全国では、昭和45年以降毎日、交通死亡事故が発生しています。一人ひとりが交通ルールを守り、交通マナーを実践するなど交通事故に注意して行動し、交通事故死傷者数を減少させましょう。

3月はシートベルト着用強調月間です！ 3月1日（日）～3月31日（火）

くらしのカレンダー

3月		
19	木	
20	金	春分の日 みんなの体験館 お菓子作り 桜餅・草餅
21	土	小国診療所 午前診療日 みんなの体験館 切り絵 春の花
22	日	
23	月	
24	火	小国診療所 午後 整形外科 小学校 卒業式
25	水	
26	木	
27	金	小国診療所 午後 外科 ひまわり保育園卒園式
28	土	みんなの体験館 作品展・春の山野草展(3/29まで)
29	日	
30	月	
31	火	小国診療所 午後 整形外科

4月		
1	水	
2	木	
3	金	小国診療所 午後 外科 ひまわり保育園入園式
4	土	小国診療所 午前診療日
5	日	
6	月	
7	火	小国診療所 午後 整形外科 小学校・中学校入学式
8	水	
9	木	みんなの体験館 生け花(おぐにを活ける)
10	金	小国診療所 午後 外科 みんなの体験館 写経
11	土	みんなの体験館 楽しい墨絵(午後)
12	日	みんなの体験館 スリランカの辛いカレーとナン
13	月	
14	火	小国診療所 午後 整形外科 米百俵号巡回日 上小国小学校
15	水	
16	木	
17	金	小国診療所 午後 外科
18	土	小国診療所 午前診療日 みんなの体験館 編みぐるみ(動物のクリップ)
19	日	小国診療所 診療日

小国クリーンセンターからのお知らせ

現在、日曜日と祝祭日を休業とさせて頂いておりますが、平成21年4月から、土曜日も休業とさせていただきます。

ごみ持込の電話受付と持込みは、祝祭日等を除く月曜日から金曜日にお願いします。

なお、土曜日の午前9時から12時に行っておりました「枝葉・草」持込の受付は、月曜日(祝祭日等で休日の場合は翌日)の午前8時30分から12時までに変更させていただきます。

問合せ 小国クリーンセンター
電話 95-3153
市民生活課 環境係
電話 95-5901

小国地域の人口(平成21年3月1日現在)

		人口総数	前月比
人口総数		6,507人	-4
内訳	男	3,171人	±0
	女	3,336人	-4
世帯数		2,156世帯	+2

■ 「小国支所からのお知らせ」カラー版は、長岡市ホームページでご覧になれます。
<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/>

前より前へ! 長岡
人が育ち地域が輝く

